

輪島消防署 大規模な火災につながる危険性が高い地域の指定

奥能登広域圏事務組合消防本部

鳳至第一地区



指定条件

- 1 建物の大部分が木造で、1haあたり概ね80棟以上の密集地域である。
- 2 消防自動車が進入できる道路が地区の中央のみで、また地区の西側は山が有り地区を囲むことが困難である。
- 3 地区中央の道路から山側へ家が連っており、小路が狭く入り組み奥深い。

● 公設消火栓

鳳至第一地区

主要道路から細い小路で奥に家が続く



写真 ①



写真 ②



写真 ③

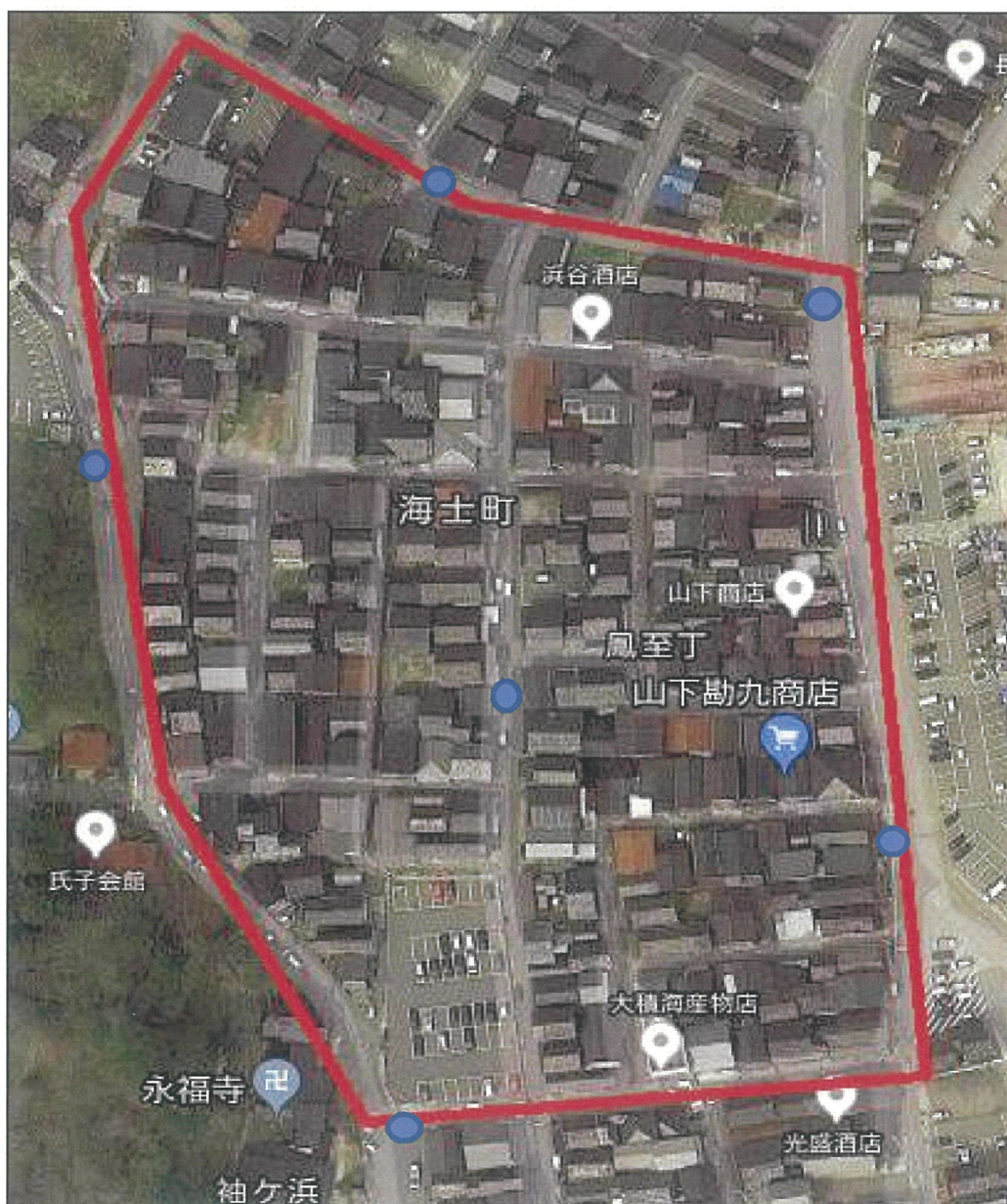


写真 ④



写真 ⑤

鳳至第二地区



指定条件

● 公設消火栓

- 1 建物の大部分が木造で、1haあたり概ね80棟以上の密集地域である。
- 2 消防自動車が入力できる道路と道路の間が100メートル以上と住宅街が広域で、消防自動車地区を囲むことが困難である。

鳳至第二地区



- 消防車が通行困難
- 消防車が通行不能

駐車車両が多く走行困難
道路が奥で通行不能状態



写真 ①



写真 ②

鳳至第三地区



指定条件

- 1 建物の大部分が木造で、1haに建物が概ね80棟以上の密集地域である。
- 2 地区中央付近に寺院が2棟有り、火災が発生した際には大火となることが考えられる。

● 公設消火栓

■ 公設防火水槽

○ 寺院

河井第一地区



指定条件

- 1 建物が1haあたり概ね60棟以上の密集地域である。
- 2 過去に大火の歴史がある。(明治43年4月1100戸以上が焼失した。)
- 3 地区内に大きな寺院が2棟あり、火災が発生した際には大火となることが考えられる。
- 4 朝市開催時は露天が立ち並び消防車の進入が困難である。また観光客が多く火災防御が困難と考えられる。



河井第一地区



写真①

- 通行困難
- 公設消火栓
- 公設防火水槽
- 寺院

- ・河井町大火 明治43年4月河井町のほとんどが焼失した。(約1100戸以上)
- ・午前中、朝市が開催され、避難、消火活動が困難と考えられる。

糸魚川大規模火災に伴う危険地域指定について

1 輪島崎町地区

- (1) 建物が1 haあたり概ね60棟以上の密集地域である。
- (2) 住宅が道路より奥に約3軒から多い箇所では約10軒と繋がっている。
- (3) 消防自動車が進入できる道路が地区の中央のみで、地区を囲むことが困難である。

2 海士町地区

- (1) 建物が1 haあたり概ね60棟以上の密集地域である。
- (2) 住宅が道路より奥に約3軒から多い箇所では約10軒と繋がっている。
- (3) 消防自動車が進入できる道路間が100メートル以上で地区が広域で、地区を囲むことが困難である。

3 鳳至丁地区

- (1) 建物が1 haあたり概ね60棟以上の密集地域である。
- (2) 消防自動車が進入できる道路間が100メートル以上で地区で地区を囲むことが困難である。

4 河井町1部地区

- (1) 建物が1 haあたり概ね60棟以上の密集地域である。
- (2) 過去に大火の歴史がある。(輪島市の平均年間風向は南西で、南西の風が吹けば一番風当たりが強いのではないかと、考えられる。)
- (3) 住宅、店舗が混在しており延焼拡大が見込まれる。

門前地区

門前分署長をはじめ職員に検討してもらったが、今回の指定条件には当てはまらないとの見解により指定なし。

黒島町地区

地区内の道路はいずれも消防車両が進입可能で、包囲隊形がとれる。
消火栓、防火水槽の設置も充実している。

大泊・腰細地区

住宅は密集しているが、道路沿いに横並びで、奥に密集していない。
以前の火災より防火水槽を増設した。

町野・南志見地区

町野分署長をはじめ職員に検討してもらったが、今回の指定条件には当てはまらないとの見解により指定なし。